

平成 2 7 年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【就労移行支援】

【就労支援 B 型事業】

ワークショップ大鰐

事 業 報 告

平成 2 8 年 5 月 2 3 日

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字虹貝

字篠塚 3 3 番地 1 1

電 話：0 1 7 2 - 4 8 - 3 6 6 2

F A X：0 1 7 2 - 4 8 - 3 0 2 8

〈Ⅰ〉 支援内容	
1. 生活支援	1
2. 就労移行支援	2
3. 作業支援	3
(1) 農産事業	3
(2) パン事業	4
(3) 内部事業	5
4. 保健支援	6
5. 余暇活動支援	
①行事等	8
②利用者会活動	9
〈Ⅱ〉 給食	11
〈Ⅲ〉 防災	12
〈Ⅳ〉 広報	13
〈Ⅴ〉 研修及び会議	
(1) 会議開催状況	15
(2) 研修参加状況	16
〈Ⅵ〉 苦情解決	17
〈Ⅶ〉 地域生活支援	18
〈Ⅷ〉 外商	19
〈Ⅸ〉 安全巡視（虐待防止委員会）	21

〈I〉 支援内容

1. 生活支援

担当：幸山稚子

日常生活に必要な、基本的な生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援をした。

○支援内容

①基本的習慣の定着のための支援をした。

- ・あいさつ、排泄、生理の手当て、衣類の着脱・調整・たたみ方、歯磨き、手洗い、食事とその後始末、整理整頓、掃除の支援をした。

②コミュニケーションを図れるように支援した。

- ・言語の受容と表出に関する支援をした。
- ・パニックに対する本人への支援及び周りの利用者への理解に関する支援をした。
- ・コミュニケーション手段の選択と活用に関する支援をした。

③行動に支障がある利用者に対する支援をした。

- ・精神障害に関する理解とそれに関する支援をした。
- ・身体障害（盲・聾を含む）に関する理解とそれに関する支援をした。
- ・発達障害の理解とそれに関する支援をした。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援をした。

- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がないように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・危険と思われる物の管理をした。

2. 就労移行支援

担当：鎌田健司

今年度は、就労に必要な基礎的な作業能力を養う事は出来たが、利用者の就労に対しての具体的なイメージの構築とソーシャルスキルの面に課題が残った。

障害者集団面接会への参加は無く、津軽障害者就業・生活支援センター(中ポツ)協力の元、就労継続支援 A 型事業所への就職が 1 名となっている。

また、年明けから 2 週間の期間で黒石養護学校からの要請で就労アセスメントを実施している。

《実習並びに就労実績》

『佐藤樹也さん』

○概略

中ポツの仲介で 8 月 3 日より施設利用を開始している。知的にはほぼ問題無いが ADHD 傾向があり、家族からの就労希望が高かった。本人の希望では一般就労であったが、家族の意向で、一般が難しければ A 型事業所でも良いという事もあり、A 型事業所への就労を本人に提案し、本人の了解を得て勧めていった。集団面接会の求人票から見つけた A 型事業『杉の子』へ、面接会では無く中ポツに仲介を依頼し、施設見学から面接を経て、11 月 30 日付けでワークショップ大鰐を退所し、12 月 1 日から『杉の子』への利用開始となっている。

○就職先

企業名 : 株式会社『杉の子』
住所 : 青森県弘前市城東中央 4 丁目 7 - 3
電話番号 : 0 1 7 2 - 2 7 0 2 5 2
作業内容 : ペットボトル分別作業・缶類分別作業・弁当解体作業
その他

○備考

【次年度への課題】

- ・引き続き各関係機関との連携による情報収集を図ります。
- ・利用者の就労に必要なコミュニケーション能力向上を図ります。
- ・利用者の就労に対する具体的なイメージ構築を図る支援策を立てます。
- ・利用者の特性に合った実習先・就労先を見つけ継続して続けられるように計画を立てて行きます。

3. 作業支援

平成26年度から、可能な職種に関し、対応職員のローテーションをし、職員の作業に対するマルチ化を図り、職員間の連携が厚く作業効率が良くなってきた。しかし、受託作業の一部において対応する職員による完成度のばらつきが問題となった。平成27年度には、さらに効率的に業務を進めるため、受託作業完成度のばらつきを最小限に抑えるため、作業内容の問題の共有と、マルチに対応できる職員の更なる育成のため、パン作りが出来る職員増を行った。しかし、職員の移動と退職により、パン作りの出来る職員の減となった。平成28年度は、「パン作り」と「外商」をすることが出来る職員を増やし、マルチに作業が出来る職員の育成に取り組みたい。また、利用者の作業アセスメントを深め、得意な所を延ばし、また、利用者もいくつかの作業をローテーションすることが出来る様になることによって、いつも同じ職員と同じ仕事だけと言うことではなく、多くの職員と利用者の関わりを深め、仕事に「飽きが来ない」「やる気の向上」「仕事が楽しい」と思える様になって欲しい。

就労を目指す利用者に対しては、1名の方の就労が出来た。

工賃目標平均月額8,000円に対し、就労移行支援の利用者は8,350円、就労継続支援B型の利用者は7,104円、全体として7,727円だった。

(1) 農産事業

担当：山中司

【年間合計収入 2,658,250円】

「野菜栽培」

栽培品目・・・長ネギ・黒豆

販売先・・・近隣ラーメン店・鰯カム・大鰯町学校給食センター

(株)あらき(幸楽苑)

【作業収入 2,541,670円】

○内容及び次年度の課題

定植直後にネギがネズミ等に食べられたことにより品質に多少のばらつきができています。秀品率が下がり収量が確保できず目標を達成するには至らなかった。また、調整作業においては、皮むき器を1台増やしたことにより効率よく進めることができました。

次年度は排水対策をし今年度使えなかった畑を使えるようにし、品質・量の向上を目指し、円滑に作業が進むよう取り組む。

黒豆に関しては収入はそれほどなかったが、冬期間の作業にはなったのではと思われる。

利用者さんが作業に取り組みやすい環境を作るため、長峰にある畑の環境整備(農機具

の保管場所、利用者の休めるところ（プレハブ）、仮設トイレの置いている場所の土台整備など）に取り組んでいきたい。

平成28年度は、今まで農産を行ってきた担当職員が退職したため、担当として栽培方法等の農業に必要な事柄を早く覚え現状維持したい。

「施設外就労」

作業内容・・・トマト栽培管理・リンゴ収穫

【作業収入 116,580円】

○内容及び次年度の課題

近隣農家へ出向き作業を行いました。主としてミニトマトの管理作業の委託を受け、ホルモン処理を行いました。またお願いしますと言ってもらえた。

(2) パン事業

担当：幸山稚子

【年間作業収入 1,664,672円】

○内容及び次年度への課題

今年度は商品開発に力を入れ季節のパンを販売してきたが、思うように売上が伸びず事は出来なかった。コスト削減の為、高騰しているバターを乳脂肪分の少ないバター入りマーガリンに変えたり、イーグルの取り扱い業者を変えたりしてみたものの、大きな経費削減とはならなかった。

秋にショップのネギを使ったねぎみそパンを発売した。細かいものや傷みがあり出荷できないネギを使用した為経費も抑えられ、また味も美味しいと好評であった。

日々の作業によって利用者の技術向上もあり、新商品の開発に大きな力となった。何度か成形に取り組むうちにマスターし、開発から発売まで時間をかけずに行うことが出来た。生地の手入れや計量などの確実性も高く、利用者の成長が感じられる一年であった。

平成28年度は、販売先の確保やニーズにあった商品の開発を行っていきたい。

●平成27年度 発売商品

春 さくらあんぱん・くるみチョコ

夏 トロピカルパイパン・シナモンロール

秋 ネギみそパン・カマンベールデニッシュ

冬 豆パン・塩パン

(3) 内部事業

担当：幸山稚子、竹内友紀、山内彩子

【年間合計収入 2,568,818円】

「受託部門」 計 1,307,589円

・(有) アール 240,177円

通常12月頃から7月頃までの作業だが、平成27年度は、ほぼ毎月作業を頂くことが出来ている。利用者さんの技術の向上も見られて縫製作業に入っている利用者さんが今まで職員がやってきた結びなども出来てきている。今後も利用者さんが出来る工程を増やし効率を上げていきたい。

・木村食品工業 23,667円

平成26年度までは通年を通して作業を頂いていたが、貴社より在庫が多くなったため一旦終了すると連絡があり、4月で終了した。その後再開の連絡があったが、実施体制が取れずお断りしている。

・リンクフーズ 847,545円

12月から6月までの作業として行う。利用者さんの技術の向上により効率が良くなってきている。そのため、通年を通して行って行きたい作業だが、冷蔵庫等を設備する必要があり、現状としてはネギの調整終了時期から、播種開始時期までの期間としている。予算化可能であれば、平成28年度中には冷蔵庫を設備し、通年実施することが出来る作業にしたい。

・その他の受託

シーケンスサービス 99,000円

銅線 97,000円

ワークまつり 200円

主立った作業の合間に単発的に行っている作業だが、銅線に関しては、業者さんの協力もあり、切れることなく銅線を頂くことが出来た。銅線の価格を見ながら高値の時に出荷していきたい。また、平成28年度は通年を通して出来る新しい作業を模索していく必要がある。

「自主部門」

・タオル 709,366円

年度初め、インクの調合法が誤っていたことにより、印字が水でにじむということが判明し、かっぱの湯からのクレームがあった。インクを購入しているマーヴェラスデザインスクリーン社へ正しいインク・バインダーの使用割合を確認し、また、水は混ぜないことで印字がにじむという現象はなくなった。

4. 保健支援

担当：幸山稚子

①保健指導年間実施表

定期健康診断	6 / 1 ~ 1 9、 1 1 / 1 8
身体測定 (血圧・体重)	4 / 2 8、 6 / 3 0、 7 / 2 8、 8 / 2 5、 9 / 2 9 1 0 / 2 7、 1 1 / 2 4、 1 / 2 6、 2 / 2 3、 3 / 2 5

②体力測定

1 1 月 1 4 日 (土) レクリエーションに組み込み実施。

③保健日誌からのまとめ

※インフルエンザ予防接種を1 2 月 9 日 (水)、希望利用者 1 6 名に小山内医院にて実施。

→今年度のインフルエンザ罹患者は 3 名。

※女子利用者に生理の手当やエチケットについての保健指導を実施。

秋元繁拓さん

高血圧のため、定期的に小山内医院を受診、毎朝降圧剤を服用中。日によって差はあるが、比較的血圧は落ち着いている。

風邪などで一旦休むと通所するのが億劫になってくるようで、一週間ほど続けて休むことが多くなっている。

大津正也さん

自宅からアトピー性皮膚炎の軟膏を持参してもらい、毎日昼休みに塗布。

大湯義仁さん

4 月 1 4 日昼前、玉ねぎの作業中に包丁で左手親指を切り大鰐病院外科を受診、3 針縫っている。抗生剤セフゾン 2 日分処方。4 月 2 1 日抜糸。

賀山雄太さん

1 1 月 1 4 日レク終了間際、職員玄関のガラス戸にぶつかり右膝負傷。大鰐病院外科受診、計 6 針縫っている。1 1 月 2 4 日抜糸。

川口嘉孝さん

8 月 3 日、水中毒を発症し、意識障害と全身硬直・痙攣発作を起こしそのまま入院。

1 1 月 1 2 日退院。幸い後遺症もなく以前の日常生活に戻ることが出来た。

情緒が不安定になると水の多飲が見られる傾向があるので、他利用者との関係が良好に保つことができるよう見守り・声掛けが必要。

工藤飛鳥さん

便失禁時のシャワー浴、更衣支援実施。

小林健さん

4月上旬と12月上旬、腰痛がひどく腰を曲げて歩いている。油川整形外科を母と受診するが、異常は見つからず湿布薬と内服薬を処方されている。4～5日ほどで回復している。

高橋敏男さん

抗酒剤は現在も服薬中。1ヶ月に1回のペースで受診。股関節手術後の記念病院にも定期的に通院している。

竹内翔太さん

平成27年3月16日より右目白内障手術のため入院、18日手術を受ける。4月1日退院し、4月13日から通所再開。点眼薬3種を昼に点眼する。振動・ほこりに注意し重い物は持たないようにとのこと。現在は昼の点眼もなく、作業の制限もなく全快している。

岩淵小百合さん

平成26年12月1日、岩淵喜久さんと入籍したが、それ以降平成27年春あたりから夫からのDVによる顔の痣や前歯の破損などが見られた（警察にも相談しているが嚴重注意で終わっている）。

これまでも頻尿などは見られていたが、5～7月にかけて日中の居眠りや嘔吐が見られるようになり、家族に受診を勧めた所、7月31日に妊娠3ヶ月であることが判明。出産予定は平成28年3月であるとのことから、12月いっぱいまで通所し、年明けからは産休に入ることになる。2月19日午前11時40分頃男児を出産。母子共に健康とのこと。

高橋真奈美さん

低血糖による体調不良が定期的に見られる。補食用のブドウ糖液を事務室に常備。

外崎砂斗美さん

そうま信クリニックを月1回受診している。関わり欲求の現れと思われる、嘔吐などの体調不良の訴えは春先に多かったが徐々になくなった。

1月中旬頃から両手の脱力感、足元のふらつきの訴えがあり弘前小野病院にて頸部レントゲン、頭部CT、血液検査を受ける。その後紹介状をもらい国立病院機構青森病院神経内科にて頭部MRI、末梢神経伝導検査、筋電図など詳しい検査を実施。

心配していたパーキンソン病や重症筋無力症などの、症状の原因となるような病気はないとの診断だったが、頸部のヘルニアがごく軽い段階で認められた。首に衝撃を加えるような転倒などには気をつけなければならないが、日常生活に特に制限はなく、運動はどんどんした方がよいとのこと。

5. 余暇活動支援

①行事等

実施日	行事名	実施場所
4月18日(土)	保護者会総会・三者面談	ワークショップ大鰐
4月29日(火)	親子遠足(昭和の日)	浅虫水族館
5月16日(土)	ソフトボール練習 ----- グランドゴルフ	広野バッティングセンター スキーセンタープラザ
5月30日(土)	スポーツレクリエーション	大鰐町中央公民館
6月6日(土)	カラオケ	カラオケ合衆国城東店
6月20日(土)	ソフトボール練習 ----- フライングディスク練習	森山河川敷広場
6月28日(日)	西地区レクリエーション大会	五所川原市営球場・菊ヶ丘運動公園
7月18日(土)	流しそうめん	ワークショップ大鰐
8月8日(土)	プラネタリウムと博物館観覧	弘前文化センター・弘前市立博物館
8月22日(土)	遠足	弥生いこいの広場
8月30日(日)	青森県障害者スポーツ大会	青森総合運動公園
9月13日(日)	ワークまつり	ワークキャンパス大鰐
9月23日(水)	りんごもぎと買い物	りんご公園・ロックタウン樋ノロ
10月10日(土)	体験学習(こけしと鳩笛の絵付け)	津軽藩ねぶた村
10月17日(土)	三者面談	ワークショップ大鰐
10月31日(土)	ハロウィンスイーツ作り	ワークショップ大鰐
11月14日(土)	体力測定と調理学習	ワークショップ大鰐
12月5日(土)	親子忘年会	ホテルアップルランド
12月19日(土)	クリスマスお楽しみ会	ワークショップ大鰐
1月9日(土)	新年会	ワークショップ大鰐
1月23日(土)	ラーメンを食べよう	幸楽苑 弘前城東店
2月6日(土)	ヨガ体験	ワークショップ大鰐
2月20日(土)	親子ボウリング	アサヒフォーラム高田店
3月5日(土)	お好み焼き作り	ワークショップ大鰐
3月12日(土)	クッキー作り	ワークショップ大鰐

・平成27年度は、計27回(内同日開催2回)の行事を実施した。

②利用者会活動

・利用者全体会

担当：幸山稚子

偶数月の初日に15時頃から、利用者会を実施。行事等の話し合いや、各委員会からの報告等をしてもらった。また、頑張った人の発表では、作業や生活面で頑張った人を発表し、みんなの前で今後の抱負などを発表してもらった。

実施日	主な内容
平成27年 4月 1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人(大湯義仁さん) ・お茶委員会から ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度各委員会の希望
6月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・浅虫水族館遠足の感想 ・頑張った人(大津正也さん) ・お茶委員会から ・広報委員会から ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークまつりの出し物について
8月 3日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・頑張った人(長利耕平さん) ・お茶委員会から ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークまつりの出し物について ・吹田公伸さんからのお願い
10月 1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想(ワークまつり) ・頑張った人(中村彩音さん) ・お茶委員会から ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・調理学習で作りたいもの
12月 1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想(ハロウィンスイーツ作り) ・頑張った人(齋藤美和さん) ・お茶委員会から ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・職員からお知らせ

平成28年 2月 1日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (竹内和歌子さん) ・お茶委員会から ・広報委員会から ・その他 <ul style="list-style-type: none"> ・竹内和歌子さんより提案 ・新年の目標掲示 ・行事で行きたいところの希望
-----------------	---

・行事委員会

担当：竹内友紀

平成27年度計画にある「カラオケ」「忘年会」「親子ボウリング」の行事について、実施日2ヶ月前から第2・第4火曜日に会議日を設け、行事の内容・委員会の役割について会議を行った。「忘年会」については司会進行等の練習のため打ち合わせを増やし取り組んだ。

・お茶委員会

担当：山内彩子

毎日のお茶委員会の仕事を通し、持続性・協調性・責任感を養った。
お茶の準備や毎月のおやつ計画を立てたり室内で使用するタオル等の洗濯・管理を行った。
活動日は、毎日『朝・休憩・昼休み・帰りの会后』とし、2ヶ月に1度担当を変えた。
会議日は、毎月最終週の水曜日とした。

・広報委員会

担当：鎌田健司

- ・行事・連絡事項を朝の会で発表した。
- ・掲示物の入れ替え・張り替えを行った。
- ・年度初めに年間を通しての掃除分担を決めた。
- ・活動日は随時とした。

〈Ⅱ〉 給食

担当：山口美香

①平成27年度 給食指導 対象者 男 2名 女 5名 計 7名

指導内容	具体的指導方法	対象者
咀嚼・嚥下の補助	①主菜・副菜～刻み食。	女1名 男2名
糖尿病対策	①食事療法。	女1名
肥満対策	①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。	女2名
食事の補助	①フォークの使用。	女1名

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対してゆっくり食べるように声かけをしている。

②平成26年度 年間行事食実施表

月	行事	献立名	実施日	備考
7	七夕	冷やしうどん	7月 7日	
9	十五夜	栗ごはん	9月16日	
10	いも煮会	米沢風いも煮	10月 6日	
12	冬至	かぼちゃのいとし煮	12月22日	
12	クリスマス	コーンライス、トマトクリームシチュー、カップムース	12月25日	
3	ひなまつり	ちらし寿司	3月 3日	

③平成27年度 郷土食 年2回 実施。

④平成27年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

⑤平成27年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

まとめ・反省

- ・行事食の際は、季節感を感じながら楽しんで食べていたと思う。
- ・今年度も行事食・嗜好調査・給食だよりを充実させる事が出来たので、来年度も維持していきたい。
- ・今年度も新メニューを数多く出すことができたので、来年度も利用者の楽しみになるようなメニューを出していきたい。
- ・郷土食を2回しか出すことができなかったので、来年度はもっと出していきたい。
- ・平成28年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。

〈Ⅲ〉 防災

担当：田中大生

【実施状況】

○ワークショップ大鱈

実施日	訓練種別	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	避難時間
5 / 19	総合	10:20~10:35	地震 火災	震度5 40秒 1階 洗面所	駐車場	3分10秒
10 / 8	総合	11:00~10:30	火災	2階 洗面所	駐車場	3分18秒
3 / 3	総合	10:30~11:00	火災	1階 厨房	駐車場	4分37秒

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・「おはし」の徹底（押さない・走らない・しゃべらない）をした。
- ・職員に対し、消火・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。
- ・消火器を実際に使用して消火訓練を行なった。

○ケアホームつつじ

実施日	訓練種別	訓練時間	想定	震度・出火場所	避難場所	避難時間
10 / 5	総合	16:30~16:45	火災	1階 浴室	駐車場	2分48秒
3 / 3	総合	16:30~16:45	火災	1階 台所	駐車場	2分35秒

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・おはしの徹底（押さない・走らない・しゃべらない）をした。

【次年度への課題、方向付け】

- ・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。
- ・放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。
- ・避難放送の際の「放送文言の原稿」をつくる。

〈Ⅳ〉 広報

1. 広報誌「阿闍羅」

担当：佐藤直幸、田中大生

○内容

- ・第12号、第13号の発行

(内容) 第12号：施設長より、これからのショップ、しいたけ県知事賞報告、平成26年度決算報告、行事予定

第13号：職員研修について、ワークまつり、しいたけシール、新スタッフ紹介、行事報告(ショップ親子忘年会、親子交流会)、行事予定

- ・予定通り2回(6月・12月)の発行することが出来た。

○次年度への課題

平成27年度は、ショップをはじめとする職員研修に力を入れていることについて各所にアピールすることを主に考えての紙面作成をした。平成28年度としては、施設運営面と地域における様々な情報をホームページや Facebook との連携をした紙面を作っていきたい。

2. ホームページ

担当：中畑幸、田中大生

○内容

- ・ブログの更新(行事等の報告)

- ・広報誌「阿闍羅」の掲載(第12号、第13号)

- ・「社会福祉法人の運営に関する情報開示について」(厚労省等の通知)において、社会福祉法人の業務及び財務等に関する情報をインターネット等において公表するよう示されたことを踏まえ、以前からも財務三表を公表していましたが、これを無くし、「情報公開」のページを作りました。

- ・出店等のイベント告知(全国生産活動・就労支援部会職員研修会の障害福祉物産展へ出展・地域活性化フォーラムの報告)

- ・阿闍羅会フェイスブック活用(ホームページとのリンク)

○次年度への課題

県からの助成による車両購入に伴い、津軽地区障害者就労継続支援事業所共同受注窓口としてのサイト検索が出来るように整備する必要がある、早急に取り組む必要がある。また、ホームページを更新することができる職員が少なく十分なサイト運営が出来ていないことから、その育成のため研修会を行いたい。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

阿闍羅会フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/ajarakai>

3. その他の広報

担当：佐藤直幸

◇大鰐町民文化祭への参加

キャンパス・ショップともにレクの中で作品を作り、また一人一人から作品を提供していただいで展示している。

作品の数もあり、スペースをうまく使えたのではと思う。

また、40周年記念の大鰐町民文化祭に参加、記念式典にも参加している。



※文化祭作品展示の様子

◇地域の祭りなどへの参加

外商事業を中心にし、施設紹介も含め、生産物のアピール及び展示即売する形で参加した。また、当法人だけではなく、近隣の同様な施設の物についてもPR及び販売をしている。

参加状況

- ・大鰐温泉つつじまつり
- ・各種施設のまつり
- ・全国生産活動就労部会全国大会
- ・鰐 come 祭り
- ・まるごと大鰐商人市 など



〈V〉 研修及び会議

(1) 会議開催状況

① 事業会議

担当：竹内友紀、植田善久

開催日	構成員	会議内容
3 / 19、4 / 16、5 / 28、 6 / 18、6 / 25、7 / 23、 8 / 20、9 / 17、10 / 22、 11 / 19、12 / 17、1 / 21、 2 / 18	阿闍羅会 全職員	・ 行事日程・作業予定 ・ 収支報告・外商業務報告 ・ 事業展開について ・ 虐待防止委員会報告 ・ 安全巡視報告 など

② 給食会議

担当：山口美香

開催日	構成員	会議内容
3 / 19、4 / 16、5 / 28、 6 / 25、7 / 23、8 / 20、 9 / 17、10 / 22、11 / 19、 12 / 17、1 / 21、2 / 18	阿闍羅会 全職員	・ 給食業務、内容の協議 ・ 思考調査の検討 ・ 調理、味付けの工夫等の検討 ・ 利用者給食指導の内容報告と検討

③ ケース会議・就労会議

担当：田中大生

開催日	会議内容	構成員
4月22日(水)	・ 利用者会報告、家庭訪問、三者面談報告、ケースカンファレンス、ヒヤリハット、他	ワークショップ 大鰐 全職員
5月13日(水)	・ 職員研修、ケースカンファレンス、行事、他	
6月3日(水)	・ 利用者会報告、ケースカンファレンス、ヒヤリハット、行事、他	
7月6日(月)	・ ケースカンファレンス、モニタリング・支援計画、行事、他	
7月27日(月)	・ ケースカンファレンス	
8月10日(月)	・ 利用者会報告、職員研修、ケースカンファレンス、支援経過確認、行事、他	
8月20日(木)	・ ケースカンファレンス	
9月2日(水)	・ 研修報告、ケースカンファレンス、職場訪問記録、行事、ヒヤリハット、他	
10月9日(木)	・ 利用者会報告、研修報告、カンファレンス、モニタリング、支援計画、個人別作業能力評価、他	
11月4日(水)	・ 研修報告、家庭訪問記録、ケースカンファレンス、三者面談報告、行事、他	
12月2日(水)	・ 利用者会報告、研修報告、ケースカンファレンス、ヒヤリハット、行事、他	
1月6日(水)	・ 研修報告、ケースカンファレンス、就労アセスメント、モニタリング・支援計画、行事、他	
2月3日(水)	・ 利用者会報告、研修報告、モニタリング・支援計画、行事、他	
3月2日(水)	・ 研修報告、家庭訪問記録、ケース担当について、行事、ヒヤリハット、他	
3月23日(水)	・ 家庭訪問記録、モニタリング・支援計画、個人別作業能力評価、ヒヤリハット、行事、他	

(2) 研修等参加(実施)状況

実施日	研修等参加(実施)名	場所	参加者
4月9日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
5月22日	安全運転管理者講習	大鰐町総合福祉センター	鎌田健司
5月30日	NPO法人セーフティネット青森 設立10周年記念講演会	ラ・プラス青い森	田中大生
6月9日	製パン講習会	清野商店	赤川咲子
6月11日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
7月25日	成年後見制度実践講座	弘前市民会館	泉谷文子、鎌田健司
8月12日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
8月18日	特別支援学校における職業技能検定に 関する指導の実際	スポカライン黒石	田中大生
9月3日 ~ 9月4日	青森県知的障害者福祉協会職員研修会	弘前パークホテル	田中大生
9月9日	弘前大学教育学部「キャリア教育・就労支 援等の充実事業」研修会	弘前大学教育学部	鎌田健司
9月11日	安全衛生大会	ホテルクラウンパレス青森	田中大生
9月24日	発達障害を抱える生徒への就労支援の あり方 ~キャリア教育と校内体制~	ヒロロスクエア	鎌田健司
9月30日	中小企業家同友会 共に生きる障害者問 題委員会 9月研修例会	青森市社会教育センター	田中大生、鎌田健司
10月2日	中小企業家同友会 経営研究集会	青森国際ホテル	田中大生
10月8日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
10月16日	福祉と暮らしの勉強会	弘前市社会福祉センター	田中大生
10月23日	社会福祉法人経営青年会セミナー	青森国際ホテル	田中大生
10月27日	障害者ケアマネジメント実践研修会	弘前プラザホテル	泉谷文子
11月5日	中小企業家同友会 障害者雇用事業所見学研修会	東管工業(株)	鎌田健司
11月12日 ~ 11月13日	青森県社会就労センター協議会研修会	ユートリー	赤川咲子、田中大生
11月20日	福祉と暮らしの勉強会	弘前市福祉センター	田中大生
12月10日	職員スキルアップ研修	ワークショップ大鰐	全職員
12月14日	成年後見制度研修会	ホテルニューキャッスル弘前	竹内友紀
12月19日	阿闍羅会全職員対象研修会 安全運転講習・虐待防止研修	ワークショップ大鰐	全職員
12月21日	鰐come産直の会 勉強会	鰐come	赤川咲子
2月6日	青森県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会職員研修会	青森県労働福祉館	泉谷文子、幸山稚子、飛嶋治輝 赤川咲子、田中大生
2月17日	セーフティネットフォーラム 地域で暮らす生活困窮者への支援	青森県立保健大学	田中大生
2月19日	福祉と暮らしの勉強会	弘前社会福祉センター	田中大生
2月23日	社会福祉協議会地域福祉活動推進会議	弘前文化センター	田中大生
3月19日	安田政英施設長特別講演	鰐come	全職員

※平成27年度 ワークショップ大鰐 研修参加件数 計30件
研修参加人数 延べ100名

〈VI〉 苦情解決

○施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 安田政英
苦情受付担当者 生活支援主任 泉谷文子

○第三者委員

ひろさき地域福祉ネットワーク・オンブズマン委員会（ひろネット）
訪問委員 寺口美代子、工藤昌子 （2名）

○訪問記録

訪問日	委員名	状況と問題点
4 / 17	寺口、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
5 / 15	寺口、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし
6 / 18	寺口、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
7 / 24	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
8 / 21	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
9 / 18	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
10 / 23	寺口、清藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
11 / 20	寺口、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし
12 / 18	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
1 / 29	寺口、工藤	6名の利用者と面談 特に問題なし
2 / 25	寺口、工藤	5名の利用者と面談 特に問題なし
3 / 24	寺口、工藤	7名の利用者と面談 特に問題なし

※訪問回数 計12回 面談者数 延計71名

〈Ⅶ〉 地域生活支援

(1) グループホームつつじ

○住居 定員7名、現員7名（平成28年3月31日現在）

利用者内訳 （生活介護4名、就労継続支援B型3名）

（区分2：3名、区分3：3名、区分4：1名）

○食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作っている。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫している。

○生活 利用者の障害特性等を考慮した生活の支援に関する世話人とのケースカンファレンスを実施した。

○内容及び次年度への課題

- ・支援が必要な方の利用が増えたことにより、利用者の利用施設職員並びにバックアップ施設と世話人とが連携を更に密にし、グループホームの暮らしにより質の高い支援を提供できるようにしたい。
- ・利用者の生活の安定と健康をはかり、住みやすい環境を作っていく。
- ・バックアップ施設としても訪問回数を増やして入居者の現状を把握して、何でも相談しあえる環境を作っていきたい。
- ・利用を希望する人が増えてきているため、それに答えることが出来るようにしていきたい。

〈Ⅷ〉 外商

担当：中嶋綾子

がんばろう障害者元気ショップ事業の各施設との販売体制を継続する形で、協議会への参画の代わりに売買契約書を交わし進めている。しかし契約施設間の連携については施設によって協力体制に違いがあり全てに於いて連携が取れてるわけでは無かった。利用者の工賃向上については取引先であった企業様より新規受託作業を頂くことができ多少ではあるが貢献できた。

商品の、販売・展示・PRについては、昨年よりイベントへ参加する機会が減り、工賃向上へ貢献出来なかった。

年間売り上げは、取引先数が減小しただけでは無く、現存の取引先も納品回数の減少もあり、それを補う新たな取引先の確立が出来ず、一昨年度、昨年度と下がっている。

○参画施設及び年間売上

ワークキャンパス大鱈	3,057,980円
ワークショップ大鱈	1,447,410円
ワークランド茜	61,940円
月見野園	0円
月見野食房	13,900円
夢工房月見野	0円
いわきの里	0円
玄輝門	0円
エイブル	200,720円
MEGO	5,000円
青松園	0円
ワークセンターつばき	0円
ないすらいふ	65,390円
つがる野工房	0円
就労サポート弘前	59,840円
せせらぎの園	14,640円
サポートセンターさくら	3,000円
ワークセンターのれぞれ	0円
合 計	4,929,820円

○参加イベント

5月23日～	5月31日	大鰯温泉つつじまつり
6月6日～	7日	第50回まるごと大鰯商人市
6月20日		大鰯町健康まつり
7月26日		第51回まるごと大鰯商人市
10月24日～	25日	ケッパレ東北復興支援フェア(商人市同時開催)
11月12日		青森県社会福祉大会
11月21日		第10回アップルフェア
11月22日		第53回まるごと大鰯商人市
11月30日		第30回大鰯町社会福祉大会

※イベント参加回数 9回 延参加日数 19日間

○次年度への課題

平成27年度は、前年度よりイベントへの参加も減少傾向になり、工賃反映とはいかなかった。平成28年度は県からの助成を受け購入した移動販売車での宣伝力・認知度アップを図りたい。

イベントへの参加の際、出店テント内での製造販売（焼き物・揚げ物等）を模索し、集客や売上増に繋げたい。

販路拡大・製品紹介については県からの助言をふまえ方向性を確立していく。

参画施設間の流通や情報交換の手段を簡易的に行える体制づくり、ホームページ更新など情報発信源も強化し認知度に繋げたい。

〈IX〉安全巡視（虐待防止委員会）

担当：佐藤直幸

○安全巡視実施日

実施日	担当者	実施内容
5 / 1 4	中平恵美・泉谷文子	法人事業所全部を訪問し 注意箇所を点検、事業会 議で報告し検討する。
7 / 1 6・7 / 2 5	山中司・鎌田健司	
1 0 / 2・1 0 / 1 4	植田善久・幸山稚子	
1 1 / 2 5	中畑幸・竹内友紀	
1 / 2 0～2 / 2 2	三上拓雄・飛嶋治輝	
3 / 2 0	山口美香・赤川咲子	

今年度は2ヶ月に1回、キャンパス・ショップより各1名ずつ選出し実施した。問題点として担当者同士の時間の調整、冬期間の点検実施時間帯の調整がうまくできなかった点があげられた。その他、前回実施したときの改善点がすぐ解決されない点も多数あった。注意箇所と思われる部分を速やかに改善するようにしたい。

○虐待防止委員会実施日

期間	実施日	担当者	実施内容
4月～5月	7 / 3	中平恵美・泉谷文子	虐待防止チェックリストを 法人職員全体に配布、集計 結果をまとめ虐待防止委員 会を実施、その結果を事業 会議に報告、問題点等の総 括を行い周知徹底する
6月～7月	8 / 2 0	山中司・鎌田健司	
8月～9月	1 0 / 3 1	植田善久・幸山稚子	
1 0月～1 1月	2 / 6	中畑幸・竹内友紀	
1 2月～1月	3 / 1 1	三上拓雄・飛嶋治輝	
2月～3月	5 / 1 8	山口美香・赤川咲子	

前年度の虐待事例を受け今年度より設置した。安全巡視を実施中、法人職員の利用者処遇を確認気づいた部分を報告、チェックリストを活用し現在どのような推移をたどっているかを様子観察した。年度当初に実施した時より虐待注意項目が大幅に減少、法人職員に周知されてきたように感じる、来年度はこの結果をうけ2ヶ月に1度実施したのを3ヶ月に1度に実施するようにしたい。